

# 事業計画

## 中期計画

北陸ろうきんでは、2017年度から2019年度までの3年を「第6期中期計画」と位置付け、お客さまに安心いただける金融サービスの持続的なご提供をめざし、主要政策課題に積極的に取り組んでいます。



第6期中期計画の骨子

**お客様の期待に応えるために  
〈ろうきん〉は次のステージへ歩み続けます!**

～お客様との信頼関係を強め、  
働く人々が安心してご利用いただける事業運営に努めます～

**I. 会員・推進機構等との連携と協働による、ろうきん運動の前進**

会員・推進機構や労働者福祉事業団体との連携を強化し、地域勤労者や高齢者等の利用拡大を通じて労働者自主福祉活動の充実を図り、ろうきん運動の前進を目指します。

- ・会員・推進機構との連携強化
- ・取引基盤の拡大
- ・労働者福祉事業団体等との連携強化
- ・ろうきん運動の継承

**II. 安心してご利用いただける商品・サービスの提供**

多様化するお客様ニーズに対して、良質な商品・サービスを提供していくことが求められています。他の金融機関にはない「ろうきんにしか出来ないこと」「ろうきんらしいサービス」を提供します。

- ・勤労者への生活応援運動の継続と強化
- ・資産形成支援の取り組み
- ・勤労者等に対応する商品・サービスの開発
- ・お客様の利便性向上に向けたインフラ整備

**III. お客様の期待に応える「人財」育成**

お客様の更なる期待に応えるには、提案力、対応力の高い職員＝「人財」の育成が必要です。そのためには、職員一人ひとりが「金融のプロ」としての高い知識を持ち、よりよい提案を行っていきます。

- ・「人財」育成の強化
- ・営業力の強化
- ・事務の堅確化

**IV. 安定した経営基盤の構築**

収益力の増強やコスト削減また店舗のあり方等の見直しを通じて、安定した経営基盤を構築します。

- ・利用の拡大と収益力の強化
- ・事務の効率化・集中化
- ・店舗のあり方等の見直し
- ・内部管理態勢の強化

## 2018年度事業計画の主要課題

第6期中期計画（2017年度～2019年度）の2年目として、2018年度事業計画の中では、以下の重点施策に取り組みます。

- ①「ろうきん運動」の活性化を図るため、会員・推進機構との連携を強化し、労働者自主福祉活動に協働して取り組みます。
- ②組合員の取引深耕と利用率向上の取り組みを強化するとともに、取引基盤の拡大のため、新規会員の拡大や地域勤労者・非正規雇用労働者の利用拡大に努めます。
- ③お客さまに安心してご利用いただくため、生活応援運動を継続するとともに、預金・融資商品や預り資産の提供を行います。
- ④安定した経営基盤の構築のため、R A F（リスクアペタイト・フレームワーク）の構築を図るとともに、「北陸労働金庫改革会議」を継続し、収益力の強化に向けたP D C Aを実践します。
- ⑤「人財」育成および営業力の強化のため、教育・研修制度の充実や営業店での実践的な研修を実施します。
- ⑥利用拡大のため、無担保ローンを中心とした各種キャンペーンを実施するとともに、低利で安心な「ろうきんカードローン」を活用した借換運動を強化します。
- ⑦収益力強化のため、営業店収益管理制度を活用し全体収益の改善を図るとともに、経費削減に努めます。
- ⑧「店舗政策」に係るスケジュールに基づき、店舗の統廃合を含めた見直しを進めます。

## 2018年度計数計画

### ○預金・貸出金計画

預金	残高増加目標額	90億円
貸出金	残高増加目標額	6億37百万円
	新規実行目標額	500億円 有担保270億円 無担保230億円

※上記計画の結果、預金・貸出金の残高は以下のとおりとなります。  
(単位：百万円)

	期首残高	期末残高	期中増加額	期中増加率
預金	750,070	759,070	9,000	1.200%
貸出金	401,076	401,713	637	0.159%

### ○収支計画

(単位：百万円)

支出の部		収入の部	
経常費用	8,741	経常収益	9,290
特別損失	3	特別利益	—
法人税等	195		
当期純利益	350		
合計	9,290	合計	9,290